

薬剤名	投与経路	投与量	子宮体 (CDDP50+ADM60)d1/c21d					点滴時間 (分)	投与日(day)
			希釈液						
ホスアプレピタント	注射	150	mg					1	
デキサメタゾン	注射	9.9	mg					1	
グラニセトロン	注射	1	mg	生食	250	mL	30	1	
ドキソルビシン		60	mg/m2	生食	50	mL	全開	1	
シスプラチン		50	mg/m2	生食	250	mL	60	1	
						mL			
						mL			
						mL			

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3,4

オランザピン 5mg 分1 眠前 day1,2,3,4

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)

白血球数 $\geq 3000/\mu\text{l}$ 血小板数 $\geq 100000/\mu\text{l}$ クレアチニン $< 2.0\text{mg/dl}$ AST $< 2 \times \text{UNL}$ ALP $< 2 \times \text{UNL}$ 総ビリルビン $< 2 \times \text{UNL}$

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

年齢 65 歳以上であれば、ドキソルビシンを 45mg/m²より開始、問題なければ 2 コース目から 60mg/m²
ビリルビン値 1.1-3.0 mg/dl であれば、ドキソルビシンを 30mg/m²とする

Ⅳ. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37. 5%)

白血球減少 grade 3 以上 62%

血小板減少 grade 3 以上 18%

貧血 grade 3 以上 29%

悪心嘔吐 66%

腎障害 13%

心機能障害 23%

神経障害 13%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

J Clin Oncol. 2004; 22: 3902-3908